

ケアレストラン「えにし」開店のお知らせ

尋常浅間学校 第93時間目



失恋レストラン?

失職レストラン??

い~や...ケアレストラン

♪ 悲しけりやここでお泣きよ
涙拭くハンカチもあるし
愛がこわした君の心を
やさしく包む椅子もある…… ♪

「失恋レストラン」Song by 清水健太郎

ケアレストラン「えにし」?

恒例になった尋常浅間学校と信州えにしの会との合同企画、ケアレストラン「えにし」開店の日が迫ってまいりました。

〇2年から始まったケアレストラン「えにし」は次のような特徴を持つレストランです。

1. 1年間でたった1日、しかも6時間開店・営業するレストランです。
2. 店長、料理長、賓客、そして観客で成り立つレストランです。
3. 店長は大熊由紀子さん、料理長は高橋卓志、賓客・観客は毎年変わります。
4. 今まで用意されたお料理は**フランス料理**（〇2年）、**燗石料理**（〇3年）、**中国料理**「満漢全席」（〇4年）、**ダイエット料理**（〇5年）でした。
5. 賓客は論客も兼ねています。お料理を召し上がりながら楽しく議論を交わします。
6. 食材にはとびっきりの「福祉」、「医療」、「教育」、「環境」、「文化」など厳選された「旬のもの」が使われ、調味料には、「政策」、「経済性」、「市民社会」、「NPO」などがちりばめられています。
7. 賓客はみな、「その筋」の方ばかりです。「その筋」しか知れない驚くべき内幕、そして驚くべき将来の予見にかかわる議論が期待できます。
8. 観客は食べられないにもかかわらず、賓客が食べる風景を「お金を払って」見なければなりません。

という楽しく、満腹間違いなしのケアレストラン「えにし」が今年も開店します!



営業日:2006年7月16日(日)

開店時間:13:30(開場 13:00)

閉店時間:19:30

形式:レストランでの食事

(という設定のシンポジウム)

見学料:会員1500円

一般2000円

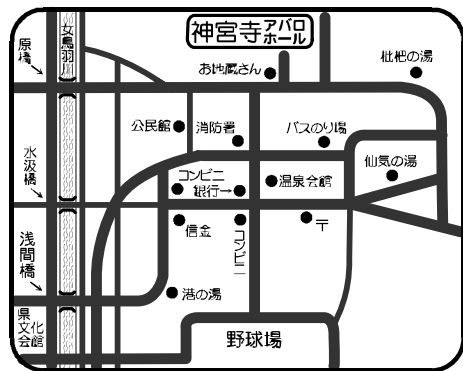
(見学者は食べられません
実は賓客も極々少量)

会場:神宮寺アバホール

主催:尋常浅間学校 &

信州えにしの会

《会場》



予約&問い合わせ 尋常浅間学校
〒390-0303松本市浅間温泉3-21-1神宮寺内
TEL0263-46-1611 FAX0263-46-3919

まずは今年のテーブル構成とそこに着かれる賓客をご紹介します。

昨年までは、賓客の皆様が大テーブルを囲み、まるでバトルロイヤルのような議論を展開してまいりました。もちろんそれもにぎやかで面白かったのですが、今年は少々事情があり、静かに語り合う場にしたいと存じます。つまり「失恋レストラン」の歌にあるような、「悲しみを癒す」ための涙拭くハンカチや、壊れた心をやさしく包む椅子が用意されたレストランにしたいと思うのです。なぜなら今年の賓客は、最近になって人生の岐路(年齢に関係なく)を迎えられた方が多く、そこには失恋と同じ感傷が入り混じり、何らかの癒しが必要だと老婆心ながら考えたからです。

今年のレストラン「えにし」は、失恋(?)・失意(?)の男女4組が登場し、ここに至るまでの道のりを思い返しなが、悲しみや、憤りや、苦しみを語るという「失恋レストラン」に重ね合わせた形で進行いたします。

だって、賓客の**浅野史郎**さんは今年、宮城県知事も辞めちゃったし、行政改革分野では希望の星だった志木市長の**穂坂邦夫**さんもたった期で辞めちゃうし、日本のデンマークをとて期待大だった「ケアタウンたかのあ」を作り上げた**岩川徹**さんも選挙で落ちちゃったし、**武藤香織**さんは家庭の事情とかで振付き始めた信州大学を辞めちゃうかも……っていうウワサもあるし、**惣万佳代子**さんは「女をやめちゃった(これは本人談一誤解のないように)」と言うし、**大熊由紀子**さんも何か大事なことを辞めちゃったと聞かし……。

このように辞めちゃった(辞める予定の)方々に対して、辞めたくても辞められない賓客もあられます。

加藤ひとみさんは埼玉県の職員なのですが、「もう、辞めたい」といってるのに50億円かかったという埼玉県立大学の事務局長をやってるし、**高橋卓志**など、遊行僧を目指すと宣言してるのに、いまだ後継者も定まらぬ神宮寺の住職をやってるし……。

このようなことを考えていくと、どうも今年は「失恋レストラン」ならぬ「失職レストラン」になりそうな気配です。でも本当のところは、皆さんしたたかに、次なる手を打っているのです。そこを見逃してはなりません!

「ネェ、マスター作ってやってよ、涙忘れるカクテル……」

「ネェ、マスター ラストオーダーは失職までの7コース」

というわけで、どうぞご期待ください! エッ?何は?

ケアレストラン「えにし」再開!

悲しげいやここでお泣きよ!
涙拭くハンカチもあるし……
そんな失職レストラン
いろんな人がやってくる



開店のご挨拶

店長:大熊由紀子

13:30~

☆

料理長最初の料理

賓客のご紹介 料理長:高橋卓志

13:35~13:50

☆

食材の提供

ケアタウン浅間温泉による

プレゼンテーション

13:50~14:00

☆

各テーブル紹介へ…

テーブル① 14:00~15:00

辞めて花実が咲くものか?

惣万佳代子さん(「このゆびとーまれ」代表) ×
岩川徹さん(元秋田県鷹巣町長)

岩川徹さんが選挙に落ちた。鷹巣を日本の
デンマークに仕立て上げ、鷹巣に憧れ、「ケアタ
ウンたかのあ」を自分の地域につくいたいと願
う人々がたくさんいたのに、辞めざるを得なか
った。何故だ?……地域密着型、富山型とい
う独特のケア状況を構築した惣万佳代子さん
が岩川さんの次の一手に迫る。同時に富山弁
を駆使して朗らかに、にまやかにそして辛らつに
福祉の現況を語る惣万さん。鷹巣と富山、秋
田弁と富山弁(通訳は必要か?)の衝突は、
近未来型福祉社会に關する地方からの強烈
な発信となる。



テーブル② 15:00~16:00

市長の仕事と市民の力

加藤ひとみさん(埼玉県立大学事務局長) ×
穂坂邦夫さん(前埼玉県志木市長)

穂坂邦夫さんが志木市長をわあか1期で辞
めた。全国的首長誰もが公約に掲げる「改革
」を穂坂さんは行政構造の中で先鋭的にやい
遂げようとしていたのに……。何故だ?何が
あったのだ? そして穂坂さんはNPO法人「地
方自立政策研究所」代表とない、地方から国
を変える意思表示をされた……。魔女「サマン
サ」の子どもを自認し、穂坂さんと同郷の埼玉
県立大学事務局長・加藤ひとみさんが、穂坂
さんのその後、その狙い、とくに「市民の力」へ
の期待に鋭く迫る。

しばし休憩… 16:00~16:20

ケアレストラン「えにし」再開!

テーブル③ 16:20~17:30

知事よりオモイ仕事って?

大熊由紀子さん(国際医療福祉大学大学院教授)×
浅野史郎さん(前宮城県知事)

浅野史郎さんが宮城県知事を辞めた。厚生官僚からの華麗な転身だったゆえに、宮城県の福祉は鮮やかに王道を進み始めた。全国の自治体における福祉関連の人々は、その牽引力に目からウロコが「バサッ!」と落ちる思いだった。でも四選目を翌年に辞めてしまった。その理由は?……浅野さんとは旧知の店長(ゆきさん)が、浅野さんの過去から未来への構想をお聞きする。ここから「ケアのこころ」を維持した地域のあい方が見て取れるかもしれない。

テーブル④ 17:20~18:20

人間辞めるのも簡単じゃない……いまPPKは?

武藤香織さん(信州大学講師)×
高橋卓志(神宮寺住職)

信州大学を辞めるかも……というウワサの武藤香織さんはこう言う。長寿県長野における医療の特徴は、高齢者の医療費が安いことと在院日数が短いこと。ここから「PPK(ピンピンコロリ)」という言葉が生まれ、国はそれを「長野モデル」とした。介護保険など国の財政に関係する施策の中で、PPKはまるでファシズムのように根を張り始めている。しかし多くの人の手を借りながら自分の障害を受け入れて生きながらえる人、なかなかピンピンコロリとは死ねない障害者や難病患者がいる……このような武藤さんの問題提起に、死生のケアに直接的なかわいを持ちながら、どうみてもコロリとは死にそうにない高橋卓志は、どう答えるか?

大テーブル 18:30~19:30

バトルロイヤル&エンディング

4つのテーブルで語り合われた話の数々、多くのキーワード。これらをもとに、薬害エイズ原告として、国や製薬会社に向き合い、真正面からのちの問題に取り組み、そのモチベーションを維持し続けている川田龍平さんを交え、今一度論議を深めていく。

ねえマスター 唄ってやってよ
痛みをいやあうパノディ……

